

米田柔整専門学校 同窓会（校友会）誌

米田柔整専門学校同窓会
（校友会）
〒451-0053名古屋市区
枇杷島二丁目3番13号
米田柔整専門学校内

令和七年の主な出来事

優勝報告会開催（二月）

全国柔道大会3位入賞（八月）

石田姉妹5連覇達成（十一月）

世界形柔道選手権大会優勝！ 石田姉妹 五連覇達成！ パリ大会

世界形柔道選手権大会

石田姉妹 優勝

フランスのパリで十一月八～九日に『二〇二五年世界形柔道選手権大会』が開催された。

『柔の形』日本代表として石田桃子選手（米田柔整専門学校）・真理子選手（石田接骨院）が出場し、409・5点を獲得し、優勝を飾った。今大会で五連覇となる。

世界形柔道選手権大会は年に一回開催される形の世界大会である。エントリ種目は毎年異なり本年度二年ぶりの出場となっている。六大陸から三七の国が参加して開催され、選手も総勢四六六名（内女性は一八九名）参加してお



が考案した切る、打つ、突くとい

り非常に競技レベルの高い大会である。また、二〇二五年大会は古式の形と五の形が導入されるといふ歴史的な大会となった。

姉妹の演じる柔の形は、柔道の基礎的な形の一つで、嘉納治五郎

った攻撃に対する防御の方法を、柔道の理合いに基いて緩やかな動作で表現する形である。

世界大会で優勝は非常に名誉あることです。それを五回も重ねるということは本当に真の努力の賜です。心から敬意を表します。



第58回全国学校協会柔道大会 3位入賞

八月五日、東京武道館にて柔道全国大会が行われた。

昨年優勝という重圧のかかる中で、選手たちは全力を尽くしたが、今年度は惜しくも3位となった。対戦相手との実力が拮抗した中で、選手は持てる力を発揮し、少し及ばなかったが立派な成績である。



優勝報告会開催

第五七回大会全国優勝を祝して二月十一日、名古屋ガーデンパレス、翼の間にて優勝報告会が開催された。

米田忠正理事長からは強豪選手を集めている学校もある中、練習と努力で優勝を勝ち取ったことは立派だとの挨拶から始まり、石田柔道委員会委員長からは長年戦い方をみているが、最初の2分間は押され気味であるが、最後の1分で逆転するのが我が校の伝統との評があった。



る。悔しい思いをした後輩たちが、来年の雪辱を誓っていた。



特に、近年で二度優勝と吉田監督の手腕が大きいと思われるが、「本人はたまたまいい時期に選手を預かっただけ」と謙遜していた。「決して強豪校出身でない選手が自分で練習メニューを考えて、自らを鍛錬していることが立派だ」と、普段選手を褒めない監督が、この時ばかりは選手を褒めていた。

夏季柔道稽古

七月十三日夏季柔道稽古が開催された。卒業生と在校生が合同で稽古をする毎年恒例の行事である。

平岩一朗会長の激励から始まり、途中には柔道委員や昨年優勝メンバーのOBなどから在校生に対する指導も交えながら熱い稽古となった。平岩会長より冷蔵庫からのあふれんばかりの、アイスの差し入れもあり、厳しいながらも笑顔あふれる稽古となった。



第三一回校内柔道大会開催

九月二五日に米田柔整専門学校にて第三一回校内柔道大会が行われた。今年は昭和百年の節目であるが、国家試験となった年より始まり、コロナ禍で中止となった年以外是我校の伝統行事として受け継がれてきている。

以前と比べると、黒帯の学生は少なくなり、大きな事故が起きないよう、また楽しめるよう、試合のやり方にも工夫を凝らしながら開催している。

毎年在学中に黒帯を取得する学生は何名かおり。同窓会から黒帯を贈呈しており、本年は石田柔道



委員長から贈呈された。



第二回運動会開催

十月十七日（金）米田柔整専門学校にて校内運動会が行われた。米田道場に全校生徒が集い、同



窓会より寄贈された豪華賞品をかけて白熱した戦いが繰り広げられた。

この日に向けてクラスでお揃いユニフォームを作ったり、特殊な衣装をこしらえたり、熱量の高さがクラスごとに表れていた。

最後はくじ引きを行い商品を買った学生は大喜びであった。3年生のクラスが商品を総なめしたが、他のクラスに譲ってあげるといふ先輩の心意気を見せていた。

現在、学校では学生イベントを継続的に行い、学年の垣根を超えた交流を行っている。

卒業生コミュニケーション セミナーについて

十月四日に米田柔整専門学校にて
第四九回卒業生コミュニケーション
セミナーが開催された。



今回は、もりかわ在宅ケアクリ
ニック楠院長であり帝京平成大
学、秋田大学、植草学園大学で教
育者としてもご活躍されている森
川田基先生より「最期は家で穏や
かに、終末期医療における医療
連携と柔道整復師の役割」をテ
ーマにご講演いただきました。

日本では最期を自宅で迎えたい
と考えている方が50%以上いる
にも関わらず、それが叶えられた
のは17.2%と2割にも満たな
い現実がある。医療機関に於ける
治療の下で死を迎えることが最も
スタンダードな旅立ちの儀式であ
り、その結果70%以上の人が医
療機関で最期を迎えている。厚生
労働省は、このような調査から「病
院完結型医療」から「地域完結型
医療」への転換を目指し、在宅医
療を強化する方向性が盛り込まれ
ているとのことである。

そんな中、在宅医療におけるリ
ハビリテーション（訪問リハ）の
受給率は約2割に留まっており、
ケアマネジャーの半数が訪問リ
ハの充実感は不十分と感じている
とのことである。森川先生は、こ

の現状から他職種にできないこと
ができる柔道整復師の介入、活躍
を期待しているとのことであっ
た。

最後に終末期の患者さんに「治
す医療」には限界があるが、「支
える医療」に限界はないとの言葉
が印象深かった。

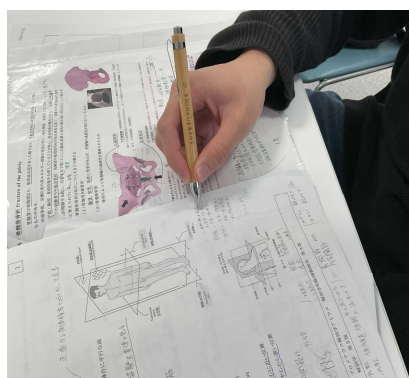
入学式開催

四月一日、米田柔整専門学校は
入学式を挙行し、新たに柔道整復
師を目指す七九名の仲間を迎え入
れた。

午前中はあいにくの雨であった
が、式典が始まる頃には雨も上が
り、たくさんの保護者の方が参列
した。



当会からは平岩会長と森川副会
長が来賓として出席し、登壇して
新入生への歓迎の言葉を送った。
また同窓会より記念品としてボー
ルペンを贈呈した。



オープンキャンパスについ て

現在、米田柔整専門学校ではオ
ープンキャンパスを定期的に開催
しています。教職員が行うだけで
なく、アシスタントとして現役学
生さんにもお手伝いいただしてい
る。社会人経験者から一年生まで、
また一般入試だけでなくその他の
選抜方法をくぐり抜けた先輩が、
入学希望者と接する中で、より実
態などを把握しやすいのではない
かと思われるが、同窓会としても

支援として、手伝ってくれた学生
さんに対して商品券など贈呈して
いる。



定期総会について

2025年度定期総会が八月九
日に書面議決によって開催され
た。

2024年度事業報告・決算報
告、会計監査報告、2025年度
事業計画案・予算案、各期幹事変
更、役員等の変更についての審議
を行い、賛成多数で原案通り可決
された。



同窓会HPの
QRコードです